



伊藤 保 議員



屈折検査機器の導入を

問 近年、弱視や乱視の子どもが増えているが、本市では3歳児健診時の視力検査はどのように行っているのか。

答 まず家庭内において視力表を用いて検査をしてもらい、異常があった場合、健診会場にて2次検査を行っている。さらに異常があった場合には、眼科への受診を進めている。

問 他の自治体では「屈折検査機器」を導入して3歳児健診を行っているところもあるが、この機器の扱いには資格などが必要なのか。また、本市で導入の考えはあるか。

答 機器の操作については、簡単なトレーニングにより誰でも操作ができると聞いている。この機器を導入することで、現在の検査より精度が向上し、目の異常発見・早期治療につながる可能性があるのであれば、導入について前向きに考えていきたい。



船橋市で導入中の屈折検査機器

災害廃棄物処理計画を早期に

問 令和元年12月定例会の答弁では、来年4月以降策定するとのことだったが、その後全く動きがないように見える。なぜ遅れているのか。

答 本年4月1日から、ごみ処理が広域ごみ処理施設に移管され、そちらで処理が可能な廃棄物の種類や処理可能量など、銚子市、匝瑳市を含め調整を図る必要が生じたため。

問 災害廃棄物の置き場を定め、おけば、災害にあった時にもいち早く市民の生活が戻ると思うが、どう考えているか。

答 銚子市、匝瑳市と足並みをそろえて、令和3年度中の計画策定に努める。

問 その他の質問事項

○ 新型コロナウイルス感染症対策

○ 広域市町村圏事務組合について

ワクチンの効果と副作用は

問 新型コロナウイルスについては、副作用が心配との声があるが、ワクチンの効果と副作用について伺う。

答 効果について、現在流通しているファイザー製のワクチンでは、発症者が94%少なくなり、重症者も92%減少したとの報告がある。

副作用について、先行してワクチン接種している国の調査では、接種後に頭痛、疲労、めまいなどの比較的軽い症状のものが2割程度の方に見られ、20万人に1人の割合で重いアナフィラキシーの症状があると報告されている。

問 もし副作用が出た場合はどのように対応するのか。

答 予防接種後のアナフィラキシー発症は、接種後15分以内が7割強を占めていることから、接種会場にて15分以上経過観察を行う。その際、症状に即時対応できる医薬品などを準備して、万が一

一に対応できるよう、万全な体制で臨んでいく。

学校再編のロードマップは

問 旭市の小学校、中学校を統合する、旭市学校再編計画(素案)が公表されたが、この計画の具体的な進め方、ロードマップを伺う。

答 令和3年度は周知活動として、本計画の概要版のリーフレットを作成し、順次説明会を開催したいと考えている。

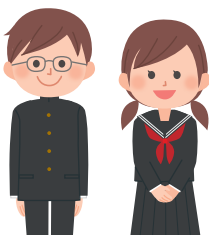
再編のロードマップについては、準備期間を約5年間と想定しており、地域の合意形成や学校の名称・校歌、通学方法や学校運営などを協議、検討していく。開校の時期については、準備期間を含め、10年から20年を想定している。



米本 弥一郎 議員



中学校



現在 5校 → 再編後 3校

小学校



現在 15校 → 再編後 7校